

# 令和7年度地方発明表彰調査表記載事項チェック

調査表は、審査の基礎資料です。正確な審査のためにも、下記ポイントを参照の上、書類作成にご協力ください。

応募名称は20文字以内です。具体的な商品名・製品名・サービス名は使用しないでください。  
アルファベットにもふりがなを。(例. C-MOS)

令和7年4月1日時点の年齢をご記入ください。

名簿・賞状等のデータになりますので、会社名や部署名等を省略せず、正確にご記入ください。

発明者等が複数の場合は、残りの人数を記載し、氏名等詳細は様式 I-2 に記入してください。

応募の際は、この欄に記載した共同権利者の同意書が必要です。

係争歴の有無と種別を教えてください。  
※応募時点で係争関係にある案件の応募はご遠慮ください。

この発明等に関する表彰歴です。

応募にあたっては、令和7年12月まで本件応募特許(実用新案・意匠)権の維持が必要です。また、忘れずに捺印をお願いします。(電子印可)

## 〔様式 I-1〕 令和7年度地方発明表彰 調査表

様式 I-1

地名	都道府県名	地域協会整理番号	整理番号
ふりがな	ちがれい ぼりおこし えーてい せいぎょうち		
応募発明、考案、意匠の名称	地下茎掘り起こし A T 制御装置		
公開特許の発明、考案、意匠の名称	地下茎処理用自動掘削装置		
出願番号	特許・実用・意匠	29年123456号	特許・実用・意匠登録
登録番号	特許・実用・意匠登録	7654321号	平・特 3年10月8日
発明者	氏名	はつめい たろう	
考案者	氏名	特許 太郎	
発明者	性別	男・女	昭・平 49年8月21日生 50歳(令和7年4月1日時点)
考案者	会社名	〇×株式会社 技術開発部 認識グループ 主任研究員	
考案者	部署、役職名	(備考:元 )	
発明者	会社所在地	〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-9-1 他 2名 別紙 I-2 に補充	
権利者	会社名	〇×株式会社	
権利者	代表者役職、氏名	代表取締役 氏名: 代表取締役 特許 太郎	
共同権利者	会社名	株式会社△製作所	
共同権利者	代表者役職、氏名	代表取締役 氏名: 代表取締役 実用 次郎	
外国特許等の取得(国名・登録番号)	無・有	米国第 456789号	
係争(審判・裁判)・付与後異議申立等	無・有	審判(事件番号): 2021-123456	裁判(事件番号): 令和3年(ハ)1234号
論文(題名・誌名・巻号・発行日)	無・有	〇〇実用機について(〇〇学会誌 Vol. 15 平成30年3月28日発行)	
応募発明等に係る既往表彰受賞歴	無・有	令和4年度(第36回)△〇工業会主催 △〇技術表彰技術功績賞受賞	
補助金の有無	無・有		
本発明に係る住所	〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-9-1		
本発明に係る会社名	〇×株式会社 知財管理グループ長		
本発明に係る氏名	考案 太郎	TEL 03-3502-5431	FAX 03-3502-3485
本発明に係る先	e-mail shourei@jmi.or.jp		
権利者会社概要(令和7年3月31日現在)	代表者 特許 太郎	資本金 278百万円	従業員数 103名
権利者会社概要(令和7年3月31日現在)	年間売上高 12,891百万円		規模 1. 中小 2. 大・中堅
権利者会社概要(令和7年3月31日現在)	主要製品: 農作業用機械、コンバイン		産業分類: 農業機械
令和7年12月まで本件応募特許(実用新案・意匠)権を維持いたします。その他募集要項の記載事項を承諾の上、応募いたします。(会社名)〇×株式会社 (責任者役職・氏名) 代表取締役社長 特許 太郎	令和7年3月7日 <span style="border: 1px solid red; padding: 2px;">印</span>		

## 〔様式 I-2〕

様式 I-2

●共同発明者、考案者、発明者	
①	氏名 意匠 四郎
	性別 男・女 昭・平 56年 3月18日生 44歳(令和7年4月1日時点)
	会社名 〇×株式会社 技術開発部 認識グループ
	部署、役職名 (備考:元 )
	会社所在地 〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-9-1
②	氏名 商標 五郎
	性別 男・女 昭・平 46年 6月7日生 53歳(令和7年4月1日時点)
	会社名 株式会社△製作所 認識部長
	部署、役職名 (備考:元 )
	会社所在地 〒123-4567 長野県長野市若里1-2-3
③	氏名
	性別 男・女 昭・平 年月 日生 歳(令和7年4月1日時点)
	会社名
	部署、役職名 (備考:元 )
	会社所在地 〒
④	氏名
	性別 男・女 昭・平 年月 日生 歳(令和7年4月1日時点)
	会社名
	部署、役職名 (備考:元 )
	会社所在地 〒

※転職、退職等により、特許、実用新案、意匠の出願時の所属会社と、現在の所属会社異なる場合は、備考欄に出願時の所属会社、部署、役職名を記載して下さい。

●応募発明、考案、意匠に係る本表彰への応募辞退者又は死亡者	
応募辞退者	無・有 氏名: 創作 六郎
死亡者	有 氏名:

様式 I-1 で記載した発明者以外の方を、この様式に記入してください(辞退者・死亡者は除く)。

転職・退職等により、特許・実用新案・意匠の出願時の所属会社と、現在の所属会社が異なる場合は、この欄に出願時の所属会社・部署・役職名を記入してください。

発明者が本表彰を辞退する場合、もしくは亡くなっている場合は、その方のお名前をここに記入してください(上欄には記入しないでください)。 ※亡くなっている方は、本表彰の対象になりません。

〔様式 I - 3〕

様式 I - 3

整理番号

● 応募発明、考案、意匠の内容…以下の項目について、簡潔に平易な文章で記入してください。

- 1) 応募発明等の概要
- 2) 従来発明等の課題と開発ニーズ
- 3) 応募発明等の特徴

※図面もしくは写真を入れてください(必須)。

- 1) 応募発明等の概要  
 応募発明等に関して、「従来発明等の課題、応募発明等の開発に至った流れ→応募発明の目的、技術的内容→実施効果」を簡潔に記入してください。
- 2) 従来発明等の課題と開発ニーズ  
 上記1)で記入した「従来発明等の課題、応募発明等の開発に至った流れ」について、社会的ニーズも踏まえて、より詳細に記入してください。
- 3) 応募発明等の特徴  
 上記1)で記入した「応募発明等の目的、技術的内容」について、特に従来発明等の課題をどのように解決したかを明記して、より詳細に記入してください。

様式 I - 3のページ数は、原則増やさないでください。また、文字の大きさは11ポイント程度としてください。文字を極端に小さくする等の調整は控えてください。

応募発明等に関して、「従来発明等の課題、応募発明等の開発に至った流れ→応募発明の目的、技術的内容→実施効果」を簡潔に記入してください。

上記1)で記入した「従来発明等の課題、応募発明等の開発に至った流れ」について、社会的ニーズもふまえて、より詳細に記入してください。

上記1)で記入した「応募発明等の目的、技術的内容」について、特に従来発明等の課題をどのように解決したかを明記して、より詳細に記入してください。

図面もしくは写真は、発明を理解する上で重要です。方法の発明等図面が存在しない場合を除き、必ず入れてください。様式 I - 3内であれば大きさ、位置は問いません。

図面、写真  
 ※様式 I - 3内であれば大きさ、位置は問いません。

実施会社と権利者会社と同じ場合は「同一」と、違う場合はどのような関係かが記入してください。(例：○×より△□にライセンス供与)

各数値の単位を忘れずに記入してください。

合計は表に記載した5年間のみの合計値を記入してください。

輸出が納品先による二次製品の場合でも、輸出高の欄に数値を記載していただいて結構です。

市場占有率はできるだけ業界団体等による公表された数値等を分母に用いて計算してください。(データ出典資料名を記載のこと。)

応募発明の実施効果を、産業性、社会性、国際性、学術性のいずれかの観点から記入してください。複数選択可能です。

新聞等、記事掲載についてはこの欄に掲載年月日、掲載誌(紙)名、記事タイトルを記入してください。

金額をグラフで表現してください。

〔様式 I - 4〕

様式 I - 4

整理番号

● 応募発明、考案、意匠の実施状況、実施効果

実施会社名 ○×株式会社 実施発明等期 平・令 30年 7月 1日

実施会社と権利者会社の関係 同一 製品名 SPXS200「穴掘り君」

年度	生産高		販売高		輸出高		国内市場占有率 (%)	社内での売比率 (%)
	数量 (台)	金額 (百万円)	数量 (台)	金額 (百万円)	数量 (台)	金額 (百万円)		
令和2年	161	190	82	164	36	72	50	12
令和3年	183	215	102	204	27	54	55	13
令和4年	153	180	68	176	26	52	50	13
令和5年	195	230	110	211	29	58	55	15
令和6年	199	235	112	215	31	62	58	18
合計	891	1,050	494	970	149	298	平均 53.6	平均 14.2
平均単価	1,178 (千円)		1,963 (千円)		2,000 (千円)			

市場占有率の算出根拠 分母は、〇〇工業が発行の統計に基づくAT制御装置の国内総生産量。

輸 出 先 台湾、タイ、シンガポール

主な用途・利用方法 野菜の収穫等において地下茎を掘り起こす機械を搭載する。

実施効果 産業性(技術的、経済効果) 社会性(安全性、環境保全等の社会的効果) 国際性(海外への波及効果) 学術性(学識面に対する影響)

様式 I - 3 1) で記入した「実施効果」について、上記4つの観点に着目しより詳細に記入してください。

掲載発明年月日、掲載誌紙名、記事タイトル

令和2年4月22日 △新聞「AT制御装置の静時代」

掲載の新聞記事等の掲載状況

備 考 実施状況一覧表の令和6年の数値は見込

☆ 本書は便宜上、調査表の注意箇所・ポイントを記したものです。各項目の詳細は『地方発明表彰 募集要項』に記載してありますので、作成時は必ずこちらをご確認ください。

☆ 発明協会ホームページでも記載方法を紹介しておりますので、ぜひ一度ご覧ください。(https://koueki.jiii.or.jp/)

お問合せ先：最寄りの各地域発明協会(『募集要項』裏面参照)

(公社)発明協会 発明奨励グループ (TEL：03-3502-5431)